



平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 8 月 12 日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2831 URL <http://www.hagoromofoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 溝口 康博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部担当 (氏名) 後藤 佐恵子 TEL (054) 354-5000
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 13 日 配当支払予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 1 四半期	20,838	△2.0	799	△1.2	1,014	△15.9	597	△13.8
22 年 3 月期第 1 四半期	21,254	1.3	809	225.9	1,205	91.8	693	79.2

	1 株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23 年 3 月期第 1 四半期	29	11	—	—
22 年 3 月期第 1 四半期	33	77	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
23 年 3 月期第 1 四半期	45,416	—	23,102	—	50.9	1,125	75	
22 年 3 月期	45,000	—	22,989	—	51.1	1,120	23	

(参考) 自己資本 23 年 3 月期第 1 四半期 23,102 百万円 22 年 3 月期 22,989 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22 年 3 月期	—	7.50	—	12.50	20.00	—
23 年 3 月期	—	—	—	—	—	—
23 年 3 月期 (予想)	—	7.50	—	7.50	15.00	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第 2 四半期 (累計)	42,300	0.7	1,200	△19.5	1,500	△32.5	900	△29.3	43	85
通 期	82,400	2.1	2,300	7.1	2,900	△16.7	1,600	△25.6	77	96

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 一社（一） 除外 一社（一）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	20,650,731株	22年3月期	20,650,731株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	128,586株	22年3月期	128,307株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	20,522,417株	22年3月期1Q	20,525,463株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 連結財務諸表等	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 平成23年3月期 第1四半期決算短信(連結) 補足説明	
(1) 売上高・利益の増減要因等	11
(2) 販売費及び一般管理費の内訳	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、消費者の生活防衛意識・節約志向が依然として強いなか、「人と自然を、おいしくつなぐ」をキーワードとし、価値訴求型の販売促進活動を実施し需要の喚起に努めましたが、価格競争の激化もあり、売上高は208億38百万円（前年同期比2.0%減）となりました。原価面では、主原料のかつおとデュラム小麦粉の価格が前年同期を下回り、売上総利益は増加しました。販売面では、重点製品のさらなる販売強化やブランド育成のために積極的に投入した販売奨励金が、前年同期を上回りました。これらにより営業利益は7億99百万円（同1.2%減）となりました。

前期末で負ののれんの償却が終了したこと等もあり、経常利益は10億14百万円（同15.9%減）、四半期純利益は5億97百万円（同13.8%減）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高 (単位：千円、%)

製品群		期別	前年同期		当第1四半期		増減	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	率
製品	家庭用食品	ツナ	9,292,130	43.7	9,147,086	43.9	△145,044	△1.6
		デザート	1,404,726	6.6	1,382,749	6.6	△21,976	△1.6
		パスタ&ソース	2,264,973	10.7	2,234,147	10.7	△30,825	△1.4
		総菜	1,706,532	8.0	1,635,075	7.9	△71,457	△4.2
		花かつお・海苔・ふりかけ類	1,835,195	8.6	1,666,767	8.0	△168,427	△9.2
		ギフトセット・その他食品	1,235,487	5.8	1,231,407	5.9	△4,080	△0.3
		計	17,739,046	83.4	17,297,234	83.0	△441,812	△2.5
	業務用食品	2,689,298	12.7	2,805,731	13.5	116,432	4.3	
	ペットフード・バイオ他	672,219	3.2	546,824	2.6	△125,394	△18.7	
	計	21,100,564	99.3	20,649,790	99.1	△450,774	△2.1	
その他	154,234	0.7	188,396	0.9	34,162	22.1		
合計	21,254,799	100.0	20,838,187	100.0	△416,611	△2.0		

(注) 上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、「シーチキンLフレック」のパック品を中心に、きはだ鮪製品が好調に推移しましたが、かつお製品の「シーチキンマイルド」が低調な販売となり、当製品群の売上高は前年同期比1.6%減少しました。「デザート」では、「朝からフルーツ」シリーズが好調に推移しましたが、輸入フルーツ缶詰が低調な販売となり当製品群の売上高は同1.6%減少しました。「パスタ&ソース」では、パスタの販売価格の低下により、当製品群の売上高は同1.4%減少しました。「総菜」では、青魚の「健康」シリーズやスイートコーン缶詰類が低調に推移し、当製品群の売上高は同4.2%減少しました。「花かつお・海苔・ふりかけ類」では、花かつお・海苔が競合の激化により販売機会が減少し、当製品群の売上高は同9.2%減少しました。「ギフトセット・その他食品」では、無菌米飯の販売が好調に推移しましたが、ギフトセットの販売が低調に推移し、当製品群の売上高は同0.3%減少しました。「業務用食品」では、シーチキンのレトルトパウチ製品が好調に推移し、当製品群の売上高は同4.3%増加しました。「ペットフード・バイオ他」では、輸入ペットフードの販売が不振となり、当製品群の売上高は同18.7%減少しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の内容

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より4億16百万円増加して、454億16百万円となりました。これは、主に現金及び預金が1億86百万円、投資有価証券が2億61百万円減少したものの、売掛債権が5億93百万円、たな卸資産が3億53百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より3億3百万円増加して、223億14百万円となりました。これは、主に未払金が15億1百万円、未払法人税等が6億67百万円減少したものの、販売促進引当金が14億12百万円、買掛債務が7億47百万円、賞与引当金が1億4百万円、売上割戻引当金が1億円増加したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より1億13百万円増加して、231億2百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が1億62百万円、繰延ヘッジ損益が85百万円減少したものの、利益剰余金が3億40百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の51.1%から50.9%になりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億86百万円減少し、9億43百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間の営業活動により増加した資金は4億99百万円となりました。これは、主に未払金の減少や法人税等の支払があったものの、税金等調整前四半期純利益やその他の引当金が増加したこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間の投資活動により減少した資金は3億74百万円となりました。これは、主に固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間の財務活動により減少した資金は3億11百万円となりました。これは、主に配当金の支払や長期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の第2四半期連結累計期間および通期連結業績予想については、平成22年5月11日の発表から変更いたしません。

なお、花かつお・海苔・ふりかけ類をグループ内事業再編により、第2四半期からは「はごろもフーズ」ブランドで販売を始めます。このブランド変更により商品力の強化を図るとともに、メニュー提案など消費者に直接、製品の価値をアピールする価値訴求型の販売促進を更に推進します。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

③ 販売奨励金の算定方法

当社の未払い販売奨励金の一部は、販売数量を基礎とした合理的な方法により算定し、販売促進引当金として計上しています。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日) および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日) を適用しています。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ309千円減少し、税金等調整前四半期純利益は13,679千円減少しています。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は15,591千円です。

(「持分法に関する会計基準」および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分) および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日) を適用しています。

なお、この変更による影響額はありません。

(四半期連結損益計算書の表示方法の変更)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)にもとづく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しています。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	943,375	1,129,726
受取手形及び売掛金	16,409,362	15,816,014
商品及び製品	5,350,655	5,343,979
仕掛品	151,845	164,243
原材料及び貯蔵品	3,407,048	3,047,719
その他	1,555,008	1,829,355
貸倒引当金	△15,075	△24,086
流動資産合計	27,802,221	27,306,953
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,964,831	4,953,446
その他(純額)	5,494,994	5,324,717
有形固定資産合計	10,459,825	10,278,164
無形固定資産	287,330	289,114
投資その他の資産		
投資有価証券	6,521,962	6,783,807
その他	371,011	366,352
貸倒引当金	△25,368	△24,008
投資その他の資産合計	6,867,605	7,126,150
固定資産合計	17,614,762	17,693,429
資産合計	45,416,983	45,000,383
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,991,243	12,243,480
短期借入金	45,850	86,680
未払金	3,308,573	4,810,157
未払法人税等	401,970	1,069,469
売上割戻引当金	141,985	41,303
販売促進引当金	1,475,047	62,172
賞与引当金	530,741	426,702
その他の引当金	—	37,500
その他	834,199	592,950
流動負債合計	19,729,611	19,370,415
固定負債		
退職給付引当金	528,702	498,729
役員退職慰労引当金	550,550	539,219
資産除去債務	15,591	—
その他	1,489,674	1,602,187
固定負債合計	2,584,518	2,640,137
負債合計	22,314,130	22,010,552

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,512	942,512
利益剰余金	18,857,940	18,517,044
自己株式	△127,500	△127,193
株主資本合計	21,114,622	20,774,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,448,953	2,611,871
繰延ヘッジ損益	△65,008	20,074
為替換算調整勘定	△395,713	△416,148
評価・換算差額等合計	1,988,231	2,215,797
純資産合計	23,102,853	22,989,830
負債純資産合計	45,416,983	45,000,383

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	21,254,799	20,838,187
売上原価	13,590,434	12,909,708
売上総利益	7,664,365	7,928,479
販売費及び一般管理費	6,854,603	7,128,669
営業利益	809,761	799,809
営業外収益		
受取利息	221	205
受取配当金	69,441	90,415
負ののれん償却額	125,904	—
持分法による投資利益	28,130	—
受取手数料	125,859	106,291
その他	65,258	41,136
営業外収益合計	414,815	238,049
営業外費用		
支払利息	4,386	1,333
売上債権売却損	4,782	1,695
持分法による投資損失	—	12,703
賃貸収入原価	5,662	6,197
その他	4,197	1,810
営業外費用合計	19,028	23,740
経常利益	1,205,548	1,014,118
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,417	10,340
固定資産売却益	749	146
特別利益合計	2,167	10,486
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	1,360
固定資産除却損	5,992	2,171
投資有価証券評価損	—	639
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,370
特別損失合計	5,992	17,541
税金等調整前四半期純利益	1,201,723	1,007,063
法人税等	508,642	409,636
少数株主損益調整前四半期純利益	—	597,426
四半期純利益	693,081	597,426

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,201,723	1,007,063
減価償却費	205,133	187,280
負ののれん償却額	△125,904	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,814	△7,650
その他の引当金の増減額 (△は減少)	1,428,047	1,621,400
受取利息及び受取配当金	△69,662	△90,620
支払利息	4,386	1,333
為替差損益 (△は益)	△129	418
持分法による投資損益 (△は益)	△28,130	12,703
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,511,974	△593,348
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△124,855	△430,704
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,007,922	747,762
未払金の増減額 (△は減少)	△940,080	△1,495,180
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,370
その他	257,340	514,848
小計	1,307,633	1,488,675
利息及び配当金の受取額	68,682	90,048
利息の支払額	△4,404	△1,193
法人税等の支払額	△562,046	△1,078,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	809,864	499,253
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△100,750	△342,965
投資有価証券の取得による支出	△6,166	△5,856
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	6,625	1,233
その他	△15,672	△26,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,963	△374,183
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△700,000	—
長期借入金の返済による支出	△40,830	△40,830
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,698	△13,403
自己株式の取得による支出	△310	△306
配当金の支払額	△153,942	△256,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△907,780	△311,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	98	△349
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△214,781	△186,351
現金及び現金同等物の期首残高	1,275,993	1,129,726
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,061,212	943,375

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 平成23年3月期 第1四半期決算短信(連結) 補足説明

(1) 売上高・利益の増減要因等

(単位: 百万円, %)

	前年同期	当第1四半期	前年同期比		前年同期比増減要因等
			金額	率	
売上高	100.0 21,254	100.0 20,838	△416	98.0	販売函数 △0.4% 製品群別売上高 ・花かつお・海苔・ふりかけ類 △9.2% △168百万円 ・ツナ △1.6 △145 ・ペットフード・バイオ他 △18.7 △125 ・総菜 △4.2 △71 ・業務用食品 +4.3 +116
売上原価	63.9 13,590	62.0 12,909	△680	95.0	・売上原価率: 原材料価格の低下により △1.9ポイント
売上総利益	36.1 7,664	38.0 7,928	264	103.4	
販売費及び一般管理費	32.3 6,854	34.2 7,128	274	104.0	・販売奨励金 +8.4% +352百万円 ・広告宣伝費 △16.7 △75
営業利益	3.8 809	3.8 799	△9	98.8	
営業外損益	1.9 395	1.0 214	△181	54.1	(収益) 前期に負ののれん償却額 125百万円計上 前期に持分法による投資利益 28 " (費用) 持分法による投資損失 12 "
経常利益	5.7 1,205	4.8 1,014	△191	84.1	
特別損益	△0.0 -3	△0.0 -7	△3	184.5	(損失) 資産除去債務会計基準の 適用に伴う影響額 13百万円計上
税金等調整前四半期純利益	5.7 1,201	4.8 1,007	△194	83.8	
法人税等	2.4 508	2.0 409	△99	80.5	
四半期純利益	3.3 693	2.8 597	△95	86.2	

設備投資額	161	171	9	105.9	無形固定資産含む
減価償却費	205	187	△17	91.3	無形固定資産分含む

《ご参考》

(単位: 円/kg, %)

きはだ鮪 価格	606.0	652.4	46.4	107.7	出所: 水産庁「産地水産物調査」 各冷凍品の4~6月平均価格 (当社で月次価格を水揚量により加重平均した)
かつお 価格	156.7	141.2	△15.5	90.1	

(2) 販売費及び一般管理費の内訳

(百万円、%)

	前年同期	当第1四半期	増減額	前年同期比
販売奨励金 (引当金繰入額含む)	4,203	4,555	352	108.4
広告宣伝費	453	377	△ 75	83.3
荷造運賃	582	587	5	100.9
保管料	172	180	7	104.6
役員報酬	82	88	5	107.3
給料及び手当	455	444	△ 10	97.6
賞与引当金繰入額	125	132	7	105.8
退職給付費用	53	54	1	102.1
旅費及び交通費	75	89	13	117.7
減価償却費	74	64	△ 10	85.9
賃借料	122	119	△ 3	97.5
研究開発費	55	50	△ 4	91.9
その他	399	384	△ 14	96.4
合計	6,854	7,128	274	104.0